

第6回 フレッシュジュニア手取川大会 大会要綱

野々市市・白山市・能美 学童野球連盟

大会運営細則

- 1) フレッシュジュニア手取川の大会は4年生以下で行われる大会である。
- 2) 本大会は、特別に5・6年生の女子の大会選手登録を認める。(但しピッチャーとキャッチャーの除く)
- 3) 試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らないこととする。
- 4) 塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- 5) 低学年はバークを取らず注意とする。バークによって攻撃側が不利な判定(アウト)を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留め置く。又、バークと盗塁が同時に起こった場合は盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- 6) 本大会においては、振り逃げは無しで行う。
- 7) **投手の投球回数は1日最長5回とする。**

予選リーグについて

- 1) グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- 2) 各グループリーグ予選で順位を決定し、1位チームのみが、決勝トーナメントに進む。
- 3) 審判については、各チームより審判を用意し、各会場にて両チームの話し合いにより、決める。
- 4) グループリーグ予選の試合会場は、各グループリーグの責任チーム地で行うのが望ましい。
- 5) グループリーグ予選において、5回終了時同点の場合は、試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行う。

審判は、○印及び×印の抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先攻チームより交互に1枚ずつ選ばれる。 選び終わったら集計し○印の多い方を勝ちとする。

※ 集計は選手の前では行わない。(○印及び×印の用紙は、各試合会場にて用意してもらう)

- 6) 予選リーグにおける勝敗数が同じ場合
 - ① 総失点数の少ない方を優位とする。
 - ② 総失点数が同じ場合は、総得点数の多い方を優位とする。
 - ③ それでも同じ場合は、抽選にて順位を決定する。
- 7) 1イニングで打者が一順した場合は、攻撃を終了し、次のイニングに移る。

決勝トーナメントについて

- 1) 各グループリーグ予選で1位になったチームによる決勝トーナメントを行う。
- 2) 決勝トーナメントにおいて、5回終了時同点の場合は、特別ルールを1回行い、勝敗を決める。
特別ルールで勝敗が決らない場合は、○印及び×印の抽選方式を行う。
(特別ルールは白山市・能美・野々市市 学童野球連盟大会要綱に記載されているとおりに行う)
- 3) 決勝トーナメントの決勝戦においては、試合回数は5回で行う。(時間制限なし)
- 4) 投手の投球回数は1日5回までとする。ただし特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り1日最大6イニングまで投げるができる。
- 5) 得点差によるコールドゲームは、3回終了時点で10点差又は4回終了時点で7点差とする。決勝戦は適用しない。

☆ 特別ルール (プレーオフ)

両チームとも無死満塁とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の3人を3塁、2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。投手・野手を交代させても何ら差し支えない。ただし、一度出場した選手は出られない。

(石川県軟式野球連盟学童部規則による)

- ☆ 2016年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球(③学童部)に関する事項」並びに野々市市・白山市・能美 各学童野球連盟大会要綱に準じて行う。